



日進北小だより

令和6年6月3日 第3号

電話 048 (663) 1842 FAX 048 (663) 9884
<https://nisshinkita-e.saitama-city.ed.jp/>



学校教育目標

心身ともに健康で、自ら学び、自ら考え、判断し、
行動できる子どもを育成する
～宇宙一 すてきなあいさつ 日北っ子～

児童の学校生活の様子を、
随時更新し掲載しています。
どうぞ、ご覧ください。

自分も友達も両方大事 ～拳をひろげて つないでいこう～

校長 寺越 崇征

6月は、いじめの未然防止に向けた取組をさいたま市全体で推進する「いじめ撲滅強化月間」です。日進北小学校も、さまざまな取組を予定しています。詳しくは、本校の学校ウェブページに掲載してあります「令和6年度 日進北小学校いじめ防止基本方針」をご覧ください。

いじめ防止対策推進法 第2条（平成25年9月より施行）

『「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。』

これは、誰かの行為によって苦痛を感じている子を守るための法律です。相手に悪意をもって故意に苦痛を与える行為は許せないことであり、決してあってはならないものです。相手の尊厳を無視した暴力や暴言等は、いかなる理由があろうと絶対に許しません。

一方で、悪意がなくても相手が苦痛を感じることがあります。自分の思いを伝えようとするあまり、相手のことが見えなくなってしまう時です。自分の思いを主張することは大切なことです。友達と意見がぶつかったときなど、ときには強く押し出すことがあってもよいと思います。しかし、これが行き過ぎて自分のことしか見えなくなってしまうと、相手への一方的な押し付けになりかねません。

自分だけでなく相手の言葉にも耳を傾ける気持ちがあれば、両方の考えを生かして折り合いをつけることもできるでしょう。このちょうどよい関係の築き方を、子どもたちは日々学んでいます。たまには間違えてしまうことだってあるでしょう。自分を強く出しすぎてしまうこともあるでしょう。そのような中で、知らず知らずに苦痛を感じさせてしまった、あるいは苦痛を感じたときは、大人の助けが必要です。自分も友達も大切に、互いのよさを認め合うことの意味を教えることが、子どもたちの心の成長には必要です。お子さんの交友関係での不安や疑問など、お気付きの点がございましたら、どうぞお知らせください。

日進北小学校の今月の歌は『HEIWAの鐘』です。6月23日の「沖縄慰霊の日」にあわせて、平和を願う反戦のメッセージをこめた、明るいメロディーの歌をみんなで歌います。この曲の中に「拳をひろげてつなぎゆく 心は一つになれるさ」という歌詞があります。子どもたち同士も同じで、拳を握って自分の思いを突き出すのではなく、つなぐための手として相手に差し伸べることができれば、互いのよさに気付き、その先は平和な関係が待っているはずです。学校中に響く平和を願う力強い子どもたちの声に乗せて、6月だけでなく、この先もずっとずっと、みんなが幸せで平和な日進北小学校であるように願っています。



ぼくらの生まれたこの地球（ほし）に 奇跡を起こしてみないか
拳（こぶし）をひろげて つなぎゆく 心は一つになれるさ
平和の鐘は 君の胸に響くよ 平和の鐘は 君の胸に響くよ
LALALALA LALALALA LALALA LALALALA・・・

『HEIWAの鐘』／仲里 幸広 作詞・作曲 白石 哲也 編曲（2000年）

いじめ撲滅に向けた取組の1つ「ストップいじめ！」スローガン作成。クラスごとにスローガンを決め、教室に掲示します。